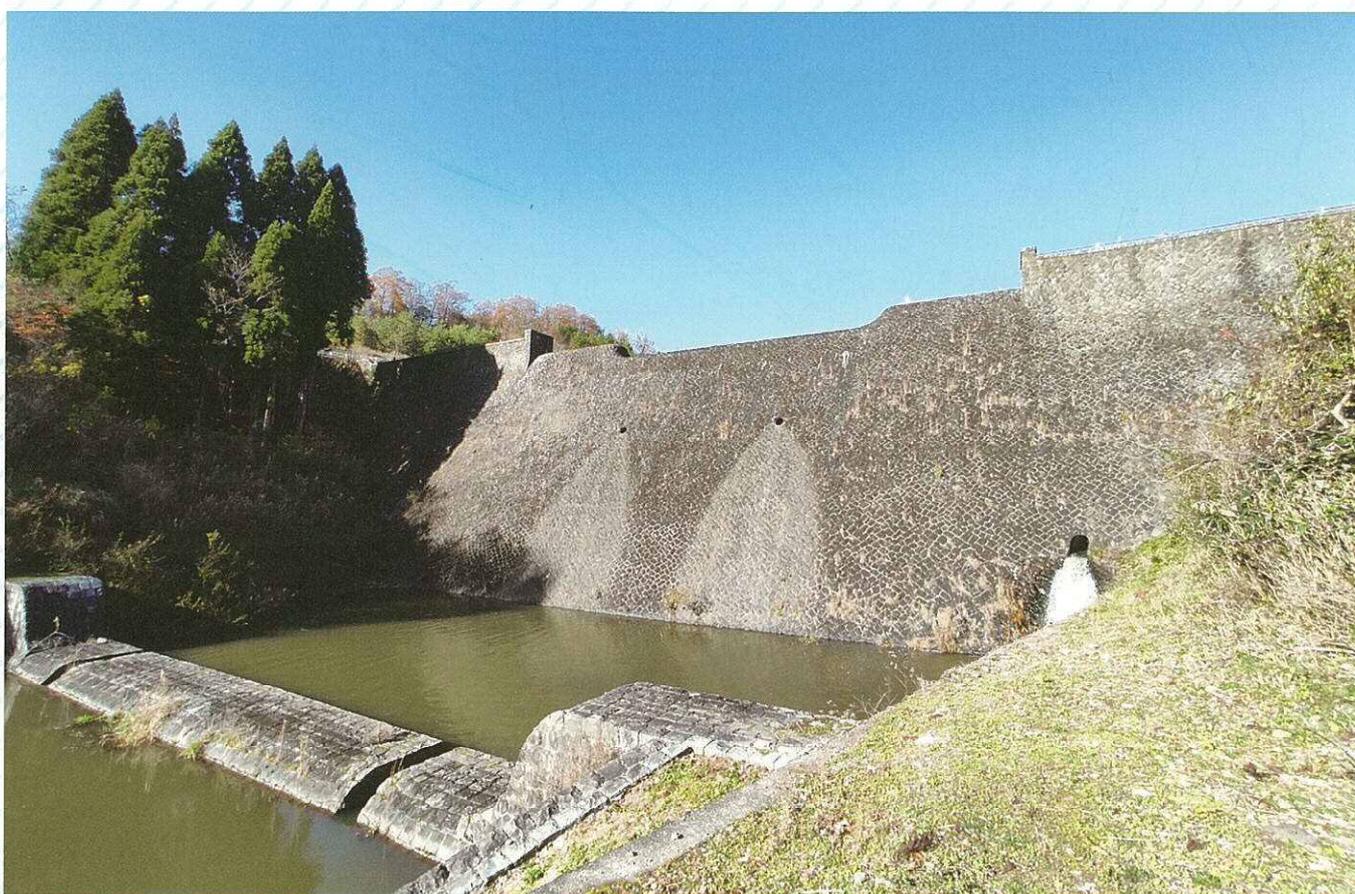


日本技術士会 中国本部

会報

No.21
2021年3月1日発行



公益社団法人 日本技術士会 中国本部

目次

巻頭言

○令和2年は会員サービスの地域格差是正の節目の年	中国本部長	大田 一夫	… 1
--------------------------	-------	-------	-----

著名人インタビュー

○音楽家に学ぶ、仕事の進め方ーサクソ奏者 藤井 政美氏ー	青年技術士交流委員会 副委員長	三角 春樹	… 2
	青年技術士交流委員会 委員長	田中 健	
	青年技術士交流委員会 副委員長	双和 祥二	

技術論文

○デジタルゼーションによる水質分析結果報告におけるQCD向上の取り組み	環境/衛生工学/生物工学/原子力・放射線部会 幹事	新淵 大輔	… 6
○新型コロナウイルスが鉄鋼業に与えた影響	化学/繊維/金属部会 副部会長	櫻井 理孝	… 12

技術解説

○工場の風景・製鉄所 高炉とその付帯設備の仕組み	化学/繊維/金属部会 副部会長	櫻井 理孝	… 18
--------------------------	-----------------	-------	------

社会論文

○Microsoft Teamsを用いたオンライン講演会とその留意点	化学/繊維/金属部会 副部会長	焼本 数利	… 22
	化学/繊維/金属部会 副部会長	伊藤 由実	

シリーズ：技術者教育

○第14回エンジニアリング・マネジメント1【コミュニケーション(1)】	技術者教育研究会 委員	山本 和宏	… 28
-------------------------------------	-------------	-------	------

講演要旨

○社会貢献活動 夏休み理科工作教室	青年技術士交流委員会 委員	古田 敦美	… 34
○機械部会講演1「水素社会に向けての課題と展望」 広島大学大学院先進理工系科学研究科 エネルギー変換材料工学研究室 市川貴之氏	機械/船舶・海洋/航空・宇宙部会 幹事	山口 太一	… 36
○機械部会講演2「水素社会の実現に向けて～民間企業の取り組み～」 三菱重工業株式会社 エナジードメイン 加幡達雄氏	機械/船舶・海洋/航空・宇宙部会 幹事	今野 康之	… 38
○機械部会講演3 「ウィズ/ポストコロナ時代の社会に期待されるイノベーション像」～島根大学 松下幸之助（講演者本人）～	機械/船舶・海洋/航空・宇宙部会 幹事	松下幸之助	… 40
○電気電子/経営工学/情報工学部会 講演会報告	電気電子/経営工学/情報工学部会 副部会長	岡村 幸壽	… 42
○2020年度 中国本部化学/繊維/金属部会講演会	化学/繊維/金属部会 副部会長	伊藤 由実	… 43
○上下水道部会講演会 講演要旨	上下水道部会 部会長	今井田 敏宏	… 45

メールリレー

○思い出の現場	鳥取県 建設部門	新任修	… 47
○新たな伝統に向けて	島根県 上下水道部門	篠田 秀一	… 47
○リモートもいけれど	岡山県 生物工学部門	山本 朗子	… 48
○我が家のルーツを巡る旅	広島県 経営工学部門	岡野 弘典	… 48
○只今奮闘中	広島県 化学部門	下畑 祐介	… 49
○「不要不急」、でも「必要不可欠」なもの	山口県 農業/総合技術監理部門	庄 栄一郎	… 49

各委員会から

○青年技術士交流委員会の近況報告	青年技術士交流委員会 委員長	田中 健	… 50
○活用促進委員会の活動概況（2020年度）	活用促進委員会 委員長	大江 清登	… 52
○防災委員会活動報告	防災委員会 委員長	山下 祐一	… 54
○社会貢献委員会報告	社会貢献委員会 委員長	河野 徹	… 56

各部会から

○電気電子/経営工学/情報工学部会の近況報告	電気電子/経営工学/情報工学部会 部会長	杉内 栄夫	… 58
○化学/繊維/金属部会活動概況報告	化学/繊維/金属部会 副部会長	櫻井 理孝	… 60
○応用理学/資源工学部会報告	応用理学/資源工学部会 部会長	松木 宏彰	… 61
○上下水道部会の活動状況	上下水道部会長	今井田 敏宏	… 62

本部から

○第3回 日本技術士会 中国本部ゴルフコンペ【報告】	第3回幹事 (船舶・海洋部門) 大江 清登 … 64 (機械／総技監部門) 立山 隆志 (金属部門) 古森 龍一
○2020年度中国本部関連の行事開催予定・実績	… 65
○賛助会員広告	… 71
○編集後記	… 77
○投稿規程	

表紙の写真は、鳥取県鳥取市国府町美歎(みたに)にある「美歎(みたに)ダム」です。

「美歎(みたに)ダム」は、旧美歎水源地水道施設内にあり、鳥取市が1915年(大正4)に山陰地方で最初に建設(全国では29番目)した近代水道施設です。

当初は土堤でしたが、1918年(大正7)9月に発生した台風によりダムが決壊した後に、重力式粗石コンクリート積ダムに変更され、1922年(大正11)に竣工しました。

1992年(平成4)に水道施設としての機能が完全に廃止されましたが、1999年(平成11年)に堰堤の補強を行い、現在は砂防堰堤として活用されています。

旧美歎水源地は量水施設や濾過施設の外形が昔のままの姿で保存され、日本の近代水道施設の全体像をよく残していることから歴史的価値が認められ、2007年(平成19)6月18日に国の重要文化財に指定されました。

撮影者：舞立剛志(広報委員)